

「顧客創造」による新たな成長への挑戦

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年、オール京都で取り組んだ「京都 知恵と力の博覧会」では、多くの皆様のご協力をいただき心からお礼申し上げます。今年もNHK大河ドラマ「龍馬伝」などで京都に注目が集まりますが、知恵博での成果を生かして、質の高い京都観光の実現を目指してまいります。

さて、景気回復への3要素と言われている設備投資、雇用、一般消費の低迷に円高やデフレが加わり、厳しい経営環境の中で新年を迎えました。一方で、新政権が掲げる「内需拡大」と「地域主権」は、環境をはじめ農業、福祉、介護、健康、医療、教育など今後の内需の柱となる分野において地域ニーズに機動的に responding してきた中小企業が活躍するチャンスとなります。

本所としては3年目を迎える「ニュー京商ビジョン」に基づき積極的に事業を推進してまいります。

3つの基本戦略

知恵産業の創造

「啓発」「育成」の段階を踏まえ、会員企業の顧客創造を集中的に支援して、「発展」へつなげてまいります。

京都の都市格向上

昨年、京都府・市に提言した「京都観光 - 10年後に向けての構造転換」の実現に向け、京都観光の質の向上への取り組みに邁進いたします。

より信頼され、魅力ある京商づくり

職員による会員訪問運動などを通じて会員ニーズにきめ細やかに応えていくとともに、会員増強運動に取り組んでいきます。

2つの視点

グローバル視点

中国をはじめ成長著しいアジアを重視し、特に、中国沿海部だけではなく内陸部における内需を意識して、仲介支援など中国での「顧客創造」に向けた新たなビジネスモデルづくりに取り組みます。

人材育成視点

京都能率協会の統合や大学との連携を生かして、中小企業を中心とした人材育成・後継者養成のサポート体制を強化してまいります。

また、地域主権を見据え、京都府・市では新たな長期計画づくりを進められています。大切なことは暮らし、経済、文化、まちづくりなど幅広い分野において未来の京都のありたい姿をオール京都で共有することです。本所としては政策立案段階から連携を深め、会員企業が顧客創造による新たな成長へ挑戦できるような政策や活動を通じて、積極的な支援をしてまいりたいと考えております。

本年が皆さまにとって、厳しさを乗り越え、新たな成長に向かって実りある1年となることを祈念するとともに、本所への一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

以上

平成22年1月1日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄